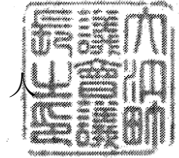




大議発第94号
令和6年3月1日

大江町長 松田清隆 殿

大江町議会議員 宇津江 雅



一般質問について（通知）

来たる3月11日からの令和6年第1回大江町議会定例会において、下記のとおり質問がある予定ですので、あらかじめ通知いたします。

記

質問者	質問事項	質問の要旨
櫻井和彦 【一問一答質問】	危険要素の排除について	<p>今年には正月から能登半島の地震、羽田空港における民間機と海上保安庁機との衝突事故と大変な事が続いて発生しました。</p> <p>まずは亡くなった方々、被災した方々、負傷した方々に、深く哀悼とお見舞いの気持ちを表したいと思えます。</p> <p>さて羽田の事故では、管制塔と海上保安庁の機長との指示のやり取りでの勘違いとか報道されていますが、実際には海上保安庁のボンバルディア社の機体には機長の隣りに副操縦士が着座しており、二人が同時に管制塔の交信を聞いているわけで、普通に考えれば機長と副操縦士が同時に勘違いをすることはなかなか考えられないのですが、人間が判断することなのでゼロではないとは言えません。</p> <p>その後の調査で、管制塔からの「ナンバーワン」という単語の意味を勘違いしたとのこと。今後は、管制塔からの「ナンバーワン」という勘違いの危険要素を含む指示は無くすとの報道でした。</p> <p>危険要因に直面する前に、あらかじめ何が危険要因なのかを調べて洗出し、出来るだけ危険要因を排除するということが大切であることは、この場で改めて言うまでもありません。</p> <p>私たちが普段通りの生活をしていると、なかなか危険要因を感じたり見つけることが難しいかもしれません。</p> <p>事件や事故が起きてからでは、町を良い方向に進</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>めていこうとする町長の考え方にマイナスのベクトルとなってしまいます。</p> <p>ベクトルとは力の大きさと、その力の方向であり、いくら力が大きくても複数のベクトルを合成したときにその方向が反対であれば、その力が相殺されたりマイナスの方向になってしまいます。出来るだけこの大江町を住みよい街にするためには、プラスのベクトルを結集することが大切なのではないのでしょうか。</p> <p>二期目を迎えた松田町長には大江町を良くするための夢があると思います。</p> <p>とりあえず夢は夢であり、その前の目標も考えているかと思えます。しかしその前にやらなければならない切迫した問題もあると思いますので、それらをこの議会を傍聴やオンラインや後日改めて大江町のホームページなどを通して、見たり聞いたりしていただける多くの町民の方々にこの場で伝えていただきたい。</p> <p>ハインリッヒの法則というものがあります。労働災害の分野でよく知られている事故の法則についての経験例です。</p> <p>1件の事故の背景には、事故に至らなかった29件の軽微な事故が隠れており、さらにその背後には事故寸前だった300件の異常、いわゆるヒヤリハット(ヒヤリとしたり、ハッとする危険な状態)が隠れているというもので「1:29:300の法則」ともよばれています。</p> <p>この法則は、大事故を未然に防ぐためには日頃から不注意・不安全な行動によるミス・ヒヤリハットを起こさないようにすることが極めて重要であり、ヒヤリハットの情報を出来るだけ多く把握して、事前に的確な対策を講じることが重要であります。</p> <p>大江町でも徹底した危険要因の洗い出しが必要だと考えます。危険個所を事故や事件が起きる前に出来る限り掘り起こして、危険要因を排除する義務が町長にあると考えます。町民が安心して暮らせる町づくりですから。</p> <p>今回のこの質問にあたり町民の声を聞いて回ったところ蛍水団地の中には、十字路でどこにも一時停止の標識や停止線さえもない箇所があるとの住民の声がありました。ここは町道であれば事故が発生したら町の責任は問われないのか不思議でたまりませ</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>ん。</p> <p>もっともっと近い箇所にも危険要因を含んだ箇所があります。役場庁舎の西側に接している2台分の駐車スペースが有りますが、町民が駐車していた車両にひかれかけたとの声があり、その後私自身も駐車していた車両にひかれかけ総務にその状況と自分なりの改善策を考えて相談に行ったのですが、2年以上一向に対策が講じられておりません。その間にも同様の危険事象があり複数回相談に行ったのは事実です。</p> <p>こう見ただけでも、わずかな区間区域に複数の危険箇所、危険要素があるように私は感ずるのだが一体町は現状を把握しているのか、それらに対して対策を講じているのだろうか。まずは今あげた例だけでも回答を得たい。その後危険要素排除の考えと今後の対応策の考えを伺います。</p>
	<p>住みたい田舎にランキング</p>	<p>東京の出版社「宝島社」の月刊誌「田舎暮らしの本」2月号で、2024年版の第12回「住みたい田舎ベストランキング」で、我が大江町が上位にランキング入りを果たしました。</p> <p>人口1万人未満の町(日本国内で回答自治体92)で 総合部門で 9位 若者世代・単身者部門で 20位 子育て世代部民で 15位</p> <p>移住支援策、医療、子育て、自然環境、就労支援、移住者数など287項目で実施して、回答をもとに田舎暮らしの魅力を数値化して、人口の規模や市町村で8グループに別けて、ランキング化したもの。</p> <p>これを紹介した新聞記事にコメントしていた山形県の移住定住・地域活力創世課の課長が聞いたことのある方だったことと併せて、非常にうれしいことでもあります。</p> <p>さてこの結果を受けて松田町長は今何を考えているのでしょうか。</p> <p>若者世代・単身者や子育て世代であるということは、経済的にもまだまだゆとりがなく、就労しなければ生活を維持するのも困難ではないかと考えますが、住みたいと思っている人を本当に住んでもらうために、現実として受け入れるために、長く住んでもらうために、町としてなすべきこと、なさねばならないことについて町長に伺います。</p> <p>夢を語るのではなく、明確な目標と現実をしっかりと</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		り見据えたい話をお願いします。
関野幸一 【一問一答質問】	町内の施設におけるWi-Fiの設置状況は	町の施設を訪れる方々が、町の情報を集めたり、コミュニケーションを取るため、スマホやパソコンを使用しているが、施設のWi-Fi環境はあまりいいとは思えない。今後整備をする必要があると思いますが町長の考えは。
	特定空き家の処理解体について	町内にある特定空き家（危険住宅）の処理を町長はどう考えているのか。
	町内の空き家をリノベーションやリフォームをして移住者に提供してはどうか、また町営住宅・アパートの家賃の改定は	新規就農者住宅は、移住者には大変好評だと聞いているが、今後は町内の空き家などをリノベーションして、移住者や若い世代の人たちに提供してはどうか。また、若い人たちが入居しやすいように、町営住宅・アパートの家賃を下げてはどうか。
菊地邦弘 【一問一答質問】	喫緊の行政課題にどう向き合うのか	<p>昨年12月末、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、2050年までの地域別の推計人口を昨年公表した。それによると2050年時点での人口は2020年に比べ、山形県では30%を超える減少となると予測している。一方、大江町では、2020年の7,646人から2050年には4,059人となると山形新聞が報道している。</p> <p>言うまでもなく人口減少による地域活性化の衰退は避けられず、税収の減少や経済活動の維持・減退が懸念され、地方自治体の基盤を大きく揺るがすこととなり得る可能性があるとし、少子化対策の重要性や東京一極集中への是正が急務であると論じている。</p> <p>地方自治体の喫緊の問題とされる人口減少をどのように食い止めるか、山間部を抱える全国の過疎市町村では、最も大きな課題であり、アイデアを駆使し、大胆にしかも早急に行政手腕を発揮しなければならない時期にきている。松田町長は、12月定例議会の町長二期目の出馬の意思を固めた考えの中に、道の駅を中心とした交流人口の拡大、急激な少子化と人口減少対策などを喫緊の課題にあげ「一期目の経験を活かし、覚悟を持って次の4年間を担いたい」と述べている。町の総合計画では「ちょうどいい幸せを感じることができるまちづくり」と定め、各種施策を展開してきたが、喫緊の行政課題にどう立ち向かっていこうとしているのか、早急に新たな「短期」、「中期」、「長期」の行動計画を示し、目標に向か</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>って前進すべきであると考えてる。</p> <p>喫緊の行政課題にどのように対応する考えなのか町長の所見を問う。</p> <p>また、人口減少に端を発した高校教育を含めた小中学校の在り方について教育長の考えを問う。</p> <p>○問1 人口減少への対応策について</p> <p>人口減少の主な要因は、自然現象と社会現象である。中でも、若者の転出が後を絶たない。従って、新たな住宅団地の造成販売がこれまでの経験から欠くことのできない施策であることから、どのように対応するのか。また、核家族化の進展により、結婚を機に町外のアパートに移り住む傾向が大である。よって、新規就農者向けの住宅補助と同様の補助制度を若い夫婦向けに創設すべきであると考えてるがどうか。一方、移住施策が数課にまたがっていることに鑑み、一括対応可能な「移住定住課」を新設してはどうか。</p> <p>○問2 地元産業の支援策について</p> <p>新型コロナ感染症が5類に移行したといっても町内の商工業、飲食業は未だに疲弊していると感じざるを得ない。商品券の配布やプレミアム商品券の発行など手厚い補助を実施していただいたが、今後の支援策についてどのように対応していくのか。また、昨年は記録的な猛暑によるコメの一等米比率の大幅減、リンゴなどの品質低下を招いた。加えてクマ、イノシシなどの被害が例年に増して多く、早急な対応が求められている。捕獲檻はもっと増やすべきではないか。また、県との連携をどのように図っていくのか。</p>
	<p>教育100年の大計に基づいた環境整備について</p>	<p>教育は「国家100年のもと」と言われ、人材育成こそ国家の要であり、また長期的視点で人を育てることの大切さを説いた名言として知られている。人口減少の今こそ、教育元年と捉え、新たな発想のもとで教育行政を進めていかなければならない。よって、次の項目について、教育長の所見を問う。</p> <p>○問1 公立高校入試、前・後期への対応について</p> <p>県公立高校入試の方法改善検討委員会が昨年12月、県教育長に改善案をまとめた報告書を提出した。それによると現在の中学1年生が対象となる2026年度の入試から、前期(特色)選抜と後期(一般)選抜実施する内容です。</p> <p>また、定員割れしている普通科に限って、前期(特</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>色)選抜を 2025 年度入試から実施できるとしている。各中学校の対応が急務と考えられるが、教育委員会の対応はどのようにするのか、教職員への負担増、保護者への周知方法など教育長の所見を伺いたい。</p> <p>○問2 県立中高一貫校、小中一貫校への考え方について</p> <p>少子化により、町立小学校・中学校の生徒が激減することが予想される中、各市町村では、大規模な統合を模索している状況にある。本町でも将来の生徒数の減少する予測から検討委員会を立ち上げ、各種アンケートを駆使し議論していると考察するが、県内の市町村で県立の中高一貫校、もしくは、町立小中一貫校を模索していることが報道されている。将来の町内の小中学校・高校教育を考える中で、教育長の考えを聞きたい。</p> <p>○問3 県立左沢高校への支援策について</p> <p>県立左沢高校については、同様に人口減少のあおりを受け、年々受験数が減少し、来年度から定数 40 人(1 学級)となる。町では、JR 定期券購入補助、各種検定受験補助などを実施しているが、もう少し踏み込んで幅広い補助体制を実施する考えはないのか。また、現在、各種スポーツで有能な選手を県外から招聘している実態に鑑み、左沢高校に県外からの宿舎(空き家利用を含めて)を準備し、入学を促す手段をとれないか。教育長の所見を問う。また、新設する道の駅に左沢高校生の利用促進を図るために、町営バス、山交バスの停留所を要望してはどうか。</p>
<p>土 田 勵 一 【一問一答質問】</p>	<p>最上川さくら回廊桜の管理・保存と観光バス桜観賞ツアー造成並びに町民花見会について</p>	<p>「最上川さくら回廊」桜の管理・保存と、観光バス「桜観賞」ツアー造成並びに「町民花見会」を提言し、町長に伺います。</p> <p>山形新聞、山形放送が提唱する「最上川さくら回廊」事業として、旧左澤中学校敷地一帯が選ばれました。式典には山形新聞・山形放送役員、「最上川さくら回廊」担当者、上田元町長をはじめ、植樹ボランティアなど多くの方々が参加し盛大に執り行われました。私は植樹ボランティアとして参加しておりますが、年月日については記憶にありません。植樹し添え木にネームプレートを取り付け今後は、各自が責任を持って管理して下さいということであります。私を含め 3 名が「左澤中学校第 16 回卒業生一</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>同」を代表として、植樹ボランティアとして参加し、健康温泉館駐車場から正面玄関に通ずる歩道の左側に植樹し、「左澤中学校第 16 回卒業生一同」のネームプレートを取り付けました。</p> <p>また、苗木は細く枝のバランスも悪く、良くない苗木と思っておりましたが、陽の当たる角度が良かったのか、年毎に垂直に真っ直ぐに伸びるようになり、バランスが良くなっております。人生で言いますと遅咲き苗木だったかも知れません。</p> <p>また、開花の季節になりますと、夜間には 2 本の桜がライトアップされ、その内の 1 本が「左澤中学校第 16 回卒業生一同」の桜で、第 16 回卒業生の一人として大変有り難く感謝しているところであります。管理すれば更に 50 年は咲き誇れるものと信じ、元気なうちは見守っていく所存であります。「健康温泉館一帯」の桜は大江町の名所のひとつと思っておりまして、観賞地としても最高と自負しております。</p> <p>現在、桜の管理はどのように、なっているかと言いますと、成長する度にネームプレートの鎖は、枝に食い込んでいる状況であります。また、食い込んだ処から雨水が侵入し、痛々しく弱っているようで可哀想であります。SDGs・No.15 の“陸の豊かさを守ろう”や、「最上川さくら回廊」事業を提唱する山形新聞・山形放送さんの心情を察するとこのままにしておいて良いのでしょうか。昔の原風景を守り心の癒しとなる桜を将来に残すため、大切に保存して行くべきではないでしょうか。</p> <p>ネームプレートを拝見しますと、家族全員の名前、ご高齢夫婦の名前、グループ・団体名の名前もあります。また、記入名を見ますと世帯主は高齢化し、食い込んでしまった鎖を取り外すのは、そう簡単ではありません。もし、役場で桜を管理している皆さんの住所が保管されていれば、桜の管理について呼びかけていただきたい。</p> <p>また、新たなボランティアを募集し輪を広げたい。人口減少・少子高齢化、働き手やなり手不足などから、以前に提言しました官民一丸となって取り組む“共働の社会”を復活させ、推進して行くべきではないでしょうか。管理の方法としては、食い込んでしまった鎖を取り外し藁製の縄と交換し、緩めに胴巻きに結ぶ方法しかないと思います。管理は私の勝手な発想ですが、分かり易い様に 4 年</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>に1度のオリンピックの年に実施すれば良いと思っております。</p> <p>雪が融け桜咲く季節になりますと、心がウキウキ、ワクワクして来ます。しかし我が町は歴史的に桜より杉ということかも知れませんが、「町民花見会」のようなイベントは、何十年間なかったような気がします。したがって、多忙になるとは存じますが、令和7年春から健康温泉館駐車場において、有料「町民花見会」を開催し、温泉に入って、主流の“牛肉里芋”と昔懐かしい“イルカのジャガイモ”芋煮を食べていただいて、ご観覧いただければ最高であります。更に、町民の皆さんも楽しい一時を過ごせるものと思っています。また、観光バス「桜観賞」ツアーに、組み入れてもらえるよう観光業者に要請していただききたい。</p> <p>それには桜の管理と保存は必要不可欠であります。まだ遅くはありません。管理し保存さえすれば、これから50年は咲き誇れるでしょうし“温泉と桜とイルカのジャガイモ芋煮”が一体となったPRが可能になります。町のイベントなどには、昔懐かしい“イルカのジャガイモ”芋煮を、皆さんに食べていただくことで「テルメ柏陵」一帯の新たなPRに繋がればと思っております。また「テルメ柏陵」一帯に多くの観光バスが往来し、新たな大江町の顔となりますよう切に望むところであります。</p> <p>最後になります。心の癒しとなる、昔からの大切な自然風景を守り、将来に残して行くためにも「最上川さくら回廊」桜の管理・保存と、観光バス「桜観賞」ツアー造成並びに「町民花見会」を提言するものであります。如何でしょうか伺います。</p>
<p>安食幸治 【一問一答質問】</p>	<p>観光に対する2つの提案</p>	<p>・1つ目、大江、朝日、白鷹3町の広域観光資源「五百川三十三観音霊場」活用して「着地型」「滞在型」「宿泊型」観光を</p> <p>この3町に各地に点在する、「五百川三十三観音霊場」と呼ばれる観世音菩薩を信仰する札所が1番から番外を含めて34ヶ所あります。平成25年の8月15日より25日までの間、1番札所の朝日町常盤にある「水口観音」が240年ぶりとなる、ご開帳をしました。地元新聞にカラーで2回掲載された他、河北新報にも掲載されました。私も8月20日に、お参りに行って来ました。そこで、案内の方から話を伺うと、15日から20日までで、1000人以上の</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>方がお参りに訪れたそうです。県内は元より、遠くは宮城、岩手県からも参拝者が訪れて、関係者を驚かせたそうです。</p> <p>私が大江町から来たと話すと、その方は、「大江町にも、五百川三十三観音の札所が4ヶ所あり、他に白鷹に1ヶ所ある」と言っていました。</p> <p>恥ずかしい話ですが私は、大江町ある事をこの時まで全然知りませんでした。少し後で、大江町民の方から、その「五百川観音霊場」のパンフレットと地図をゆずってもらい、参考にしました。その後、色々な方から話を伺うと、「五百川観音霊場」は、朝早くからだ1日で、お参りが出来ることが分かりました。3町が各町の特産物や魅力を出し合うことによって、広域観光力を高めることによって、毛利元就の3本の矢のように更に強力な協力体制が構築され、観光に訪れ方の滞在時間が長くなることから、昼食等で飲食業の方々を含め、町内商業の活性化にも繋がると思いますし、大江町に宿泊してもらえば、なお更よいと思います。それが1つ目の提案です。町長のご意見を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つ目、「左沢十ヶ所参り」を活用して大江町観光の滞在時間の長期化、宿泊型に <p>大江町が国選定重要文化的な景観に山形県で最初に選定されてから、各関係者のご尽力もあり町を観光に訪れる県内外の人々が多くなって大変うれしかぎりです。ただ、悲しいことは町内の滞在時間が短いことです。せつかく、町に来てもらっても、滞在時間が少ないと決まった所にしか経済効果がないと思います。そこで、左沢小学校地区に10ヶ所ある寺院等をお参りして歩く「左沢十ヶ所参り」を活用して、せつかく町にいらっしゃった観光客の方々の滞在時間を少しでも延ばして町内の活性化を図る提案です。大型バス1台の観光客を町内の飲食業の方々、宿泊業の方々が受け入れるのは、無理があると思いますので、ジャンボタクシーに乗れる観光客に対応したコースを設定して、昼食には大江町特産の素材を利用して、大江町の活性化を目指したらよいと思います。しかし、政治と宗教の問題がありますが、山形市の山寺立石寺、お隣寒河江市の慈恩寺など観光資源を利用して地域経済活性化の大きな一助となっております。大江町の先人の方々が大切に守ってきたものに「光」をあて磨いて、町に来てく</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>ださった方々の滞在時間延長、宿泊人数の増加策の1つに考えてみてはいかがでしょうか、町長のご意見を伺います</p>
<p>大 沼 清 人 【一問一答質問】</p>	<p>本町の防災対策のインフラ整備について</p>	<p>本町の防災インフラ整備について石川県の災害を念頭に下記の項目を問う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 能登朝市の広域火災等甚大な被害が発生した。その主因は、断水による初期消火の失敗が大きいと思われる。本町の水道基幹経路の耐震化対応は大きく遅れている。早急かつ具体的なゴールの設定と実施プランが必要と痛感しているが、執行部の見解を問う。 2. 広域停電等により、外部との情報のやりとりが遮断され、全容の把握に困難を極め初期救助に混乱をきたした。根本的には電線の地中化が必要と思われるが、対処として対策本部の非常用電源対策や職員の非常食等の備蓄状況について問う。 3. 各自主防災団体や町の住民への各防災備蓄の現状をどう評価しているかを問う。 4. 現在の各世帯への耐震化工事補助率（額）のアップが必要ではないか？
	<p>区長への DX 支援</p>	<p>現在県および国が自治体向けに DX の普及に注力しているが、本町は殆ど普及していない。特に住民と行政との接点である区長は、様々な行政との雑務に苦戦している。彼らの業務効率化や地域住民との情報共有の改善は喫緊の課題である。町として DX を通じ区長の業務軽減支援を行う意欲があるか問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> A. 全区長へタブレットの配布で紙媒体を廃止、各種届け出業務をネット上の処理で完結させる。 B. 災害時に防災情報の共有化をスピーディに図る。 C. 各種資料をデジタル化し、検索・保存性向上により引き継ぎの簡便化を図る。
<p>藤 野 広 美 【一問一答質問】</p>	<p>命を守る「住宅の耐震化」の部分改修補助金利用促進を</p>	<p>1月5日の新聞に、能登半島地震の被害状況が掲載されていましたので抜粋してみました。</p> <p>「この度の被害状況を見ると、1階部分が押しつぶされたり、大きく傾いたりした木造住宅が折り重なり壊滅的な状況である。</p> <p>数年前から繰り返された地震で傷ついたことが影響した可能性もある。そこに、今回の大きな地震が起り多くの住宅が倒壊した。また、耐震化も遅れていた。珠洲市内の約6000戸の住宅のうち2018年末の耐震化率は51%、輪島市は19年末で45.2%、この時期の全国平均87%より著しく低い。共通する</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>のは、地域の高齢化だ」という記事内容であります。</p> <p>また、次のような記載もされておりました。「耐震化の旗を振る国土交通省の幹部は、いつまで住み続けるか分からない住宅に、多額の費用をかけて改修する高齢者はいない。耐震化が必要な古い住宅ほど対策が手付かずになる悪循環がある」加えて、「建築基準法の耐震基準は、1978年(昭和53年)の宮城沖地震の建物被害を受け、1981年(昭和56年)に厳格化になりました。震度6強以上でも倒壊しない構造の建物が求められるようになり、耐震化は喫緊の課題と位置付けられてきました」という記事内容です。</p> <p>国土交通省の住宅や建築物の耐震化の項目の中で、住宅や建築物の所有者の方へ、「大地震から自らの生命・財産等を守るためには、住宅や建築物の耐震化を図ることが必要であり、住宅や建築物の所有者一人ひとりが、自らの問題として意識して取り組んでいただくことが重要です」と掲載されており、追加して、「昭和56年5月以前に建築された建物は、建築基準法に定める耐震基準前の、いわゆる「旧耐震基準」によって建築され、耐震性が不十分なものが多く存在します。そのため、まずは耐震診断を実施し、自らの建物の耐震性を把握しましょう。そして、耐震診断の結果、耐震性が不十分であった場合は、耐震改修や建替えを検討しましょう」と明記されております。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>令和5年12月に山形県で発表している山形県建築物耐震改修促進計画の一部を抜粋したものです。</p> <p>資料1の② 表-4に戸建住宅の昭和56年以降の住宅191,500件と昭和55年以前の住宅のうち耐震性あり50,000件を足した241,500件を総戸数の305,200件で割った比率が79.1%となる様です。</p> <p>山形県で戸建住宅の昭和55年以前に建築された住宅は113,700件で、そのうち50,000件が耐震性ありと表示されていて、約44%になる様です。約56%がまだ耐震化になっていないという結果が見えてきます。</p> <p>「耐震改修に対し、国や自治体が支援を拡充すべきだ」と東京大の教授の言葉が新聞に掲載されておりましたが、今後国も、補助金の対策に取り組むのではないかと予想されます。</p> <p>かつて大江町にも「左沢地震」と言われる、昭和</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>19年12月M5.5の地震が発生しており、県では、荻野付近や左沢地区の地震記録と被害状況を、「大江町本郷荻野付近で納屋倒壊1、土蔵の破損多数、家屋の傾斜や異常数個あり。左沢で煙突折損、山崩れ、地割れあり、地鳴りを伴い余震多数」と記録されております。</p> <p>国土交通省の呼びかけに基づいて、大江町の昭和56年5月以前に建築された住宅の数と、その中で耐震診断を行い改修された住宅の割合を把握していると思っておりますのでお伺いします。</p> <p>資料2をご覧ください。</p> <p>耐震化率の目標(1)住宅の②に、寝室や居間の部分補強、耐震ベッドの設置等による減災対策として、寝室と常に生活するスペースの居間・茶の間等の部分耐震化と合わせた減災対策率を、令和12年度までに95%目標と明記されております。</p> <p>いつ起こるか分からない地震に備えて、倒壊しない構造の建物にするため、「耐震化は喫緊の課題」と周知していくべきと思っております。</p> <p>今回の能登半島の地震で、建物の倒壊による圧死が90%と新聞やニュースで報道されております。</p> <p>本町の令和4年度の予算書には耐震診断費用補助金約20万円が予算化されていましたが、耐震診断補助金を利用した方は0件で決算書の項目から外れておりました。耐震診断補助金を利用した方が0件ということから、自宅が耐震基準に合っているかという危機感が少ないのではないかと心配されます。</p> <p>先に申し上げた、国土交通省の方が列記している通り、高齢で一人暮らしの方も多くなり、改修費用を捻出するのがなかなか難しいという方もいるのではないかと考えられます。このような現状を町長はどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>今年元日に起きた能登半島地震の時に、「家が古いからだいぶ揺れた。壊れないかと心配したよ」という町民の方の話をお聞きしています。住宅建築奨励事業補助金の中の耐震診断や耐震改修の補助金を活用していただいて、大江町に住む方が安全・安心に生活出来るために、町民の方にもっと拡大して促進していくことが必要と考えます。合わせて、資料2に明記されている山形県と同じように、令和12年度までに、95%目標を目指していただきたいと考えますが、町長の考えをお伺いします。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
	新規就農者女子寮を町の賃貸住宅に	<p>令和5年予算特別委員会の時に、新規就農者用住宅の歳入の金額が前年より減額になっていたため、私は質問させていただいておりますが、望山地区の新規就農者用住宅を利用していた方が令和4年10月で退去したことと、新たに令和5年4月から入居予定という回答を担当課長からはいただきました。</p> <p>伏熊地区にある新規就農者用住宅は2年間空いている状況かと思いますが、「住宅も呼吸しなければならない」という観点から、換気等のことも心配されるので、なるべく早く入居になるように動くべきかと思っております。</p> <p>十八才地区にある新規就農者用住宅は令和5年4月から入居する方がいない状況と思っております。</p> <p>令和6年4月から1組、新規就農者としてくる予定があり、十八才地区と伏熊地区のどちらかに入居となるであろうということはお聞きしております。それでも1棟は空いているという状況になると思うので、今後いつ入居予定となっても大丈夫と考えます。</p> <p>以前町長は、「新規就農者用住宅にこだわらず賃貸することも考えていかなければならないのでは」と思っています」と、私以外の議員が質問した際に答弁があったと記憶しており、そのことを踏まえて質問させていただきます。</p> <p>現在、深沢地区に新規就農者女子寮がありますが、現在1名の方が生活しており、今年の3月でこの施設を出ることになっているとお聞きしました。</p> <p>大江町新規就農者家賃等補助金交付要綱に明記されている、新規就農者の方が研修施設に入居していた者は、当該施設への最大入居期間(7年間)に該当するからであろうと思っております。</p> <p>このことから、令和6年4月からは深沢地区の新規就農者女子寮は空いている状況になると思っております。建物に入居しない期間が長くなると、時々換気しないとカビ臭くなるということも出てくると思っております。住宅も生き物であり、なるべく空いている期間を短くすることを考えていく必要があると思っております。</p> <p>町長がお考えのように、女子寮という用途を柔軟に捉えて、どなたにでも賃貸できるようにしていくことで、家賃として町の歳入になると考えますが、町長はどのようにお考えか伺います。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
伊藤 慎一郎 【一問一答質問】	少子化対策と子育て支援・産み育てやすい環境整備について	<p>今年度生れた子供たちは何人なのか調べてみました。令和4年度で16人、令和5年度(令和6年2月末)では11人と聞いて驚きました。この子供たちが全員大江町に住んでも、大江町の人口は減少の一途となります。これは、だれの責任だというわけでもないが、ただ、このままでいいのかと考えた時に国家レベルでの家庭を持とう。子供が欲しい。安心して子育てができる。その環境作りが劣ってきたのではないかと思います。</p> <p>そこで、今何ができると考えた時に、政治・行政は、安心して子育ての出来る、次世代に負担を残さないような政治。明るい未来を持てる政治を創り上げていくのが務めではないかと思いますが如何でしょうか。</p> <p>松田町長は選挙で公約として掲げたのが、一番目として少子化対策と子育て支援・産み育てやすい環境整備・保育園や学校教育の在り方の検討・整備とありました。全く私も同感です。避けては通れない問題だと思います。</p> <p>今から60年も前の話ではありますが、戦後のベビーブーム時代に生まれた私たちでさえも金の卵と言われました。その時私たちは左沢中学校同級生でさえも200人いました。一概に比較はできませんが、今年度生れた人数から考えたなら金の卵以上ではないか、と思いますが如何でしょうか。まずは産み育てやすい環境整備について町長の見解を伺います。</p> <p>全員が大江町に残り暮らしてもらわないと、町としてなり立たなくなるのではないかと思います心配しております。</p> <p>限界集落などという言葉も出てきました。ですから、現在暮らしている子供たちを町としても支援し育て、見守っていかねばならないのではないかと思います如何でしょうか。</p> <p>そこで提案、質問いたします、スクールバスの問題です。</p> <p>現在スクールバスで通学している地区は、小見・月が丘・富沢・用・深沢・伏熊・中郷・そして藤田地区の一部のようです。そこで登校の際にはいいとしても下校の際に低学年の1～3年生くらいは、一緒に乗れないかと思うのです。日によっては、低学年は早く下校するときには特にそうです。スクールバスの回り方、バスの定数など問題があるかと思いますが</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>検討してみてもいいかと思いますが町長の見解を伺います。登下校の問題でもありますので、教育長にも伺います。</p> <p>小漆川地区に一人。みなみに一人・若原地区に一人・市の沢に一人・一年生が一人で家に帰らなければなりません。今では大人の人も歩いていない様な道路ですよ。今年は雪が少ない年ですが、雪で狭くなった道路を吹雪の中を一人で歩く後ろ姿を想像してご覧なさい。大江町を背負っていくかもしれない子供たちですよ。小さい子供を一人で下校させるのは、防犯上から見ても町として責任を感じざるを得ません。私として小学生は全員スクールバスで登下校出来ればいいなと思うのです。いずれそうしなければならぬ時期が来ると思います。そうすることによって、両親は安心安全で子供を産んでも働くことが出来るのではないのでしょうか。</p> <p>子供を欲しくないと考えている理由としてうまく育てられない・自信がない・経済的に不安だなどと調査結果の報道がありました。大江町、行政の立場として、人口減少のためにはやれることは何でもやる気構えが必要ではないか。と思いますが町長の見解を伺います。</p>
<p>菊地英幸 【一問一答質問】</p>	<p>持続可能な稲作について</p>	<p>令和5年度は、異常気象によりこれ程までなく米の品質が悪かった事は、皆さんも知る通り初めてかもしれません。異常気象の問題も、今後の農業には大きな問題ですが、一番の問題は後継者不足の問題だと思います。令和5年度大江町の稲作を営んでいる農業者は186名で、60才以上は159名になり若い世代は27名しかいないのが現状です。186名で大江町の水田約240ヘクタールの面積を耕作していますが、農業者も高齢化が進みこれから5年後、10年後この水田を維持していくのは非常に困難だと思います。農業人口減少により、耕作放棄地も多くなるのは目に見え、どの位の水田が残るかも心配されます。</p> <p>これから水田を維持して行くには、農地が利用しやすい様に集積、集約をする。基盤整備をして、作業効率を良くし、スマート農業を取り入れる事で若手農業者も、積極的に農業に取り込む事が出来ると思います。基盤整備により食料自給率を維持そして耕作放棄の減少に繋がると思われますが、今後大江町の稲作を持続するにはどう考えているのか、町長に伺います。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
<p>廣野秀樹 【一問一答質問】</p>	<p>仮称「大江町ふるさと住民票」の新設について</p>	<p>全国の方々に対して、町として取り組んでいる各種支援策など、どこの自治体にも負けない充実した取り組みを積極的にアピールして、ちょうどいい田舎暮らしが出来る大江町を知ってもらい、ファンを増やしていくことが必要だと思います。</p> <p>そのために先ずは、大江町と関わりを持っているの方々に対し、町の魅力を発信することが重要になると考えます。</p> <p>そこで住民票が町外にある方で、大江町に固定資産税を納めている方や全国自治体の中から大江町を選んで、ふるさと納税を納めてくださった方、灯ろう流し花火大会にご寄付を頂いた方々などを対象に、仮称「大江町ふるさと住民票」を新設し発行することを提案します。</p> <p>また、「大江町ふるさと住民票」に町の施設をはじめ、町内の商店や飲食店等どこでも買い物や食事、施設の利用などができる特典を付けることで、町に足を運んでもらえるきっかけにもなり町全体のにぎわい創出につながるものと思います。</p> <p>更にそのの方々に対してアンケートなどを実施し、その情報を基に子育て世代、新規就農者、住宅環境、医療環境などの支援を更に充実させることで定住や交流人口増につながると思います。</p> <p>町外からの固定資産税納税者、ふるさと納税者の状況、花火大会への寄付者の状況なども含め、仮称「大江町ふるさと住民票」の新設について町長の考えをお伺いします。</p>